

## 1 題材設定の理由

## 活動内容・項目

## 主たる内容・項目

- (2) ア 個人及び社会の一員としての在り方に関すること  
自己及び他者の個性の理解と尊重

## 関連する内容・項目

- (2) ア 個人及び社会の一員としての在り方に関すること  
望ましい人間関係の確立  
(3) 学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること  
望ましい職業観・勤労観の形成

## 題材設定の背景及び生徒の一般的な実態と現状

中学校生活も3ヶ月が経過し、生活や学習にも慣れる時期である。身体の成長が見られる一方、友達関係や学習面での悩み、不安を抱えている生徒は少なくない。また、自分というものを客観的・総合的に捉えきれないため、自分の長所(や欠点等)をよくわからないと言う生徒が意外と多い。こうした時期にこそ、望ましい人間関係を基盤とした自他の理解の促進が必要である。

## (3) 指導法・指導上の留意点

自己肯定感の高揚は、人間関係づくりの上で大切な要素である。本プログラムでは、構成的グループ・エンカウンターの実践(「言葉のプレゼント」)により、他者との肯定的なかかわり(他者の長所をとらえ、伝える活動)を通して温かいリレーションをつくる。また、自分の長所(よいところ)に気付き、それを積極的に受け止め、さらに伸ばしていこうとする、これからの進路学習の素地としたい。

## 2 指導目標

- (1) 他者との肯定的なかかわりを通して「自己を知ること」の必要性や方法を知り、自己肯定感やリレーションを高めることができるようにする。  
(2) 肯定的な自己理解を図ることによって、自己の欠点も視野に入れた自己理解・自己受容への足がかりと今後の進路学習の素地づくりをする。

## 3 指導計画

## 事前・事後指導

事前の指導 - 短学活;自分のよいところ、友達のよいところを考えさせておく。

《本時》 - 学級活動;「自分を知ろう」(人と個性)の授業を実施する。

事後の指導 - 短学活;「振り返りカード」から感想を紹介する。

短学活;一定期間継続して「1日の反省等」の時間に、自他のよさを伝え合う「いいところメッセージ」を取り入れ、肯定的な自他の理解の促進を図る。

## (2) 教科指導等との関連

教科でのグループ学習、共同作業では、反省(振り返り)の視点に、互いの長所を伝え合う場面を設定する。

#### 4 指導案

##### (1) 指導過程

本時のねらい	互いの長所を認め合うことで、自分の長所を理解できるようにする。 「自分を知ること」の必要性や方法・内容を理解できるようにする。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (10分)	1 本時のねらいを理解する。 ・資料「自分を知ろう」を読み、個性(長所)について考えることの大切さ、これからの進路学習との関連について理解する。	学習への関心・意欲を喚起するため、教師自身の中学校時代の「自己への気付き」の例を挙げる。	「自分を知ろう」 【評価1】
展開 (30分)	2 ウォーミング・アップ ・例示する人物の長所を考え、発表し合う。  3 エクササイズ「言葉のプレゼント」を行う。  (1) ワークシートに自分の長所を記入する。 (2) 3人組となり、それぞれ相手のよさを表す言葉とその理由を書く。  (3) 3人組で「言葉のプレゼント」を交換し合い、読む。 (4) 「言葉のプレゼント」を読んで、感想を書き、発表する。	生徒がよく知っているスポーツ選手(芸能人)を例に挙げる。  「長所」「短所」ともに個性であるが、本時は「長所」に着目させる。 教師が、モデルを提示する。  学級の状況に応じて男女別、男女混合グループを編成する。 ふざけやからかいは、絶対に書かないことを確認する。 言葉が思い浮かばない生徒のために補助資料を準備する。 不快感を感じている生徒がいないか、よく観察する。 数名の生徒を指名し、発表させる。(うれしそうな表情の生徒、意外な発見や驚きをしている生徒等)	顔写真(ポスター)掲示  ワークシート 「わたしの長所」 【評価2】  ワークシート 「言葉のプレゼント」 補助資料 「長所を表す言葉マップ」 【評価2】
まとめ (10分)	4 振り返りカードに、今日の授業で考えたこと、感じたことを記入する。 5 自分自身を知ることの大切さを確認する。	記入時の様子や内容をもとに、アフターケアの必要な生徒がいないか把握する。 短所についても考えてみる時間を持つことを予告する。	振り返りカード 【評価3】

##### (2) 評価計画(評価の観点)

評価1	関心・意欲	自分を知ることへの関心・意欲は高まったか。
評価2	知識・理解	自分の長所をとらえ、ワークシートに記入しているか。 他者の長所を見つけ、ワークシートに記入しているか。 他者の見方を受け止め、それを自分の長所と捉えているか。
評価3	思考・判断	自分を知ることの必要性や方法等がわかり、自分について更に考えようとしているか

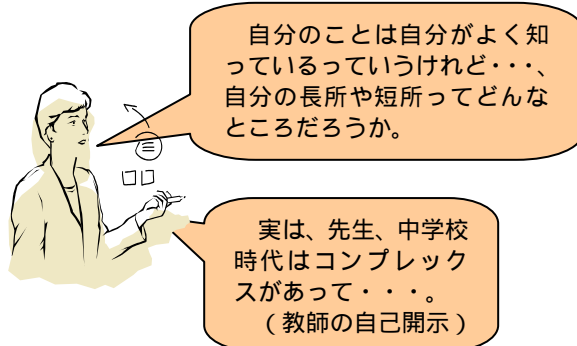
## 5 プログラムの展開例

活動場所 教室

準備物 資料「自分を知らう」、ワークシート「わたしの長所」、長所を表す言葉マップ、「言葉のプレゼント」、振り返りカード

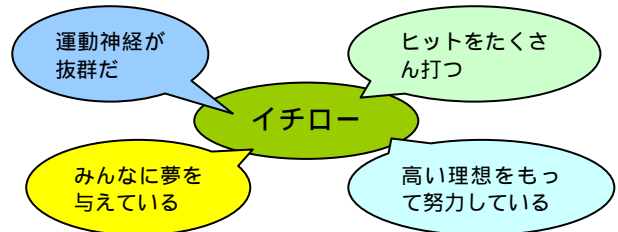
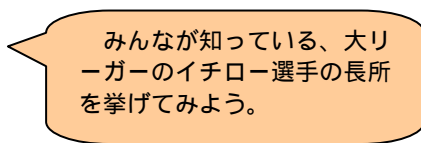
導入(10分)

### 1 本時のねらいを理解する。



展開(30分)

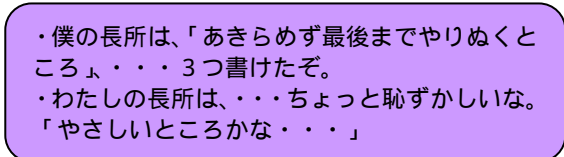
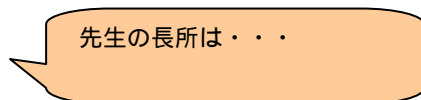
### 2 ウォーミングアップ



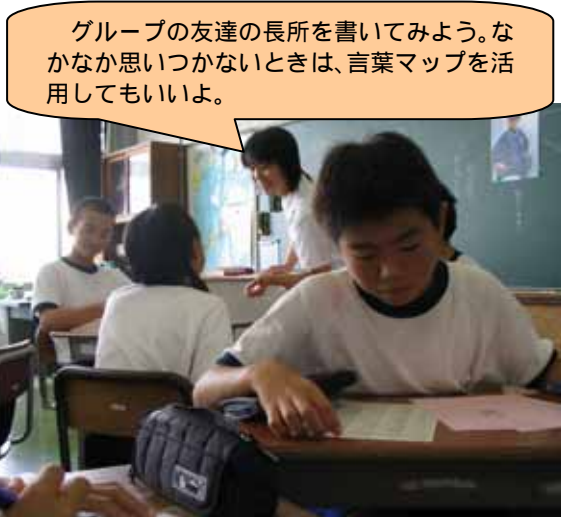
### 3 エクササイズ「言葉のプレゼント」

(1) 自分の長所をワークシート「わたしの長所」に記入する。

\*担任によるモデリング



(2) 男女混合の3人グループになって、友達の名所(言葉と理由)を「言葉のプレゼント」に記入する。\*長所を表す言葉マップ



(3) 「言葉のプレゼント」を交換し合い、読む。



(4) 「言葉のプレゼント」を読んで感想を書く。感想を発表する。



- 誰とでも仲良くできるかな？そういうことができるように努力はしている。君がこう書いてくれたってことは、できてるってこと？うれしい！！これからはどんどん声かけて、友達作って、みんなから信頼される人を目指したい。
- すごくうれしい！リーダーシップがあるとかよく言われるけど、自分のことをちゃんと見てくれている気がして自信を持つことができた。
- うれしかったです。ますます元気になった。みんなに明るさと元気を振りまいてあげたい。
- 自分のことは自分が一番知っているって言うけど、人に見てもらわないと自分で気付かない点がいくつもあることを知った。
- 「やさしい」なんて言葉、初めて言われたのですごくうれしかったです。

まとめ（10分）

4 振り返りカードに、今日の授業で考えたこと、感じたことを記入する。

5 自分自身を知ることの大切さを確認する。

6 生徒の反応（「振り返りカード」等から）

(1) 互いの長所を認め合うことで、自分の長所を理解している生徒

- ・ 自分でも知らないことがわかった。
- ・ 今まで自分は中途半端な人間だと思っていたが、「明るい」「リーダーシップがある」などと聞いて、自分の長所をたくさん知ることができた。

(2) 「自分を知ること」の必要性や方法・内容を理解している生徒

- ・ 自分の長所や相手の長所を知ることができたし、コミュニケーションがとれた。
- ・ 相手の長所を見つけるのがとても楽しかった。また、自分が短所だと思っていたところが、相手は長所だと思ってくれていたのがとてもうれしかった。
- ・ （グループ以外の）他の人にも書いてあげたいと思った。自分の良いところが改めてわかり、とてもうれしくて、やって良かったと思う。今度もやりたいなあ。
- ・ 今回の活動を通して、今まであまり考えなかった長所を知ることができて、友達からはこう思われているんだなということがわかって良かった。
- ・ 「私は人にこう見られているんだなあ」ということがわかった。ちょっと恥ずかしかった。

- ・ 自分の長所を見つけることができ、さらに長所を生かしていきたいと思った。
  - ・ 自分のいいところを知ること、将来へつながっていくんだと改めて感じた。
  - ・ 自分を知って、未来に生かそうと思った。
- (3) 他者理解が深まった生徒
- ・ 友達の考えなどがよくわかった。
  - ・ みんないろいろ知っているんだなと思った。
  - ・ 相手の長所を書くことで、相手のことがさらにわかったような気がした。お互いの長所を認め合うことが大事なのかなと思った。
- (4) 構成的グループ・エンカウンターを取り入れた授業に興味を持っている生徒
- ・ 他の人に対して、なんて書こうか少し迷った。こういう授業はおもしろい。
  - ・ この授業は、いろいろ考えるのは大変だったけど、楽しかったのでまたやってみたい。
- (5) 自分を肯定的に捉えられない生徒
- ・ 自分の短所はたくさん思いついたが、長所が思いつかなかったのは悲しかった。

## 7 授業者の感想

### 導入について

- ・ 教師の自己開示が、生徒とのリレーション形成に有効であり、生徒の学習に対する意欲付けにも効果的であると実感した。教師としての顔ばかりでなく、一人の人間としての顔（物の見方・考え方、生き方、失敗談等）を、これからも大切にしたい。

### ウォーミングアップについて

- ・ 野球選手の例示は、生徒たちにもわかりやすく、活発に発表する姿勢がみられた。今回は、例示を一つに絞ったが、他の職種の例も提示することで、いろいろな視点から「長所」を捉えることができるのではないかと感じた。

### エクササイズ「言葉のプレゼント」について

- ・ 生徒が、ワークシートに自分の長所を書く前に、モデリングとして担任の例を提示した。ほとんどの生徒は、2～5の長所を書くことができた。反面、全く書けない生徒も出たため、机間指導を意図的に行い、言葉かけを行った。反省点として、「教師の言葉かけが生徒にとってプレッシャーになってはいなかったか」、「書けなくてもOKという指示を事前に出しておくべきだったか」、「書けない生徒には、書けない理由があれば書くように指示すべきであったか」等が挙げられる。生徒の予想される反応とその対応については、思うようにいかないケースを幾通りか考えておく必要があると感じた。
- ・ 友達にその長所を伝えるため、3人組のグループ編制をした。男女混合を基本としたが生徒の状況によっては同性によるグルーピングを配慮する必要があると感じた。また、互いに向き合って相手のことを記入する形態を取ったため、不安や恥ずかしさを感じた生徒も見られた。記入が終わってから、グループになるなどの方法を工夫したい。
- ・ 友達の長所を書くための補助資料として、「長所を表す言葉マップ」を配布した。なかなか書くことができない生徒にとっては、有効であった。ただ、記入例をそのまま書き写す生徒も中には見られ、安易さが気にかかった。また、普段の友達関係が表面的である一面も垣間見られた。日常場面において、互いのよさを伝え合う「いいとこメッセージ」(今日のあなたは、こんなところがよかったよ)等の実践が必要であると感じた。

## 8 関連プログラム・参考文献等

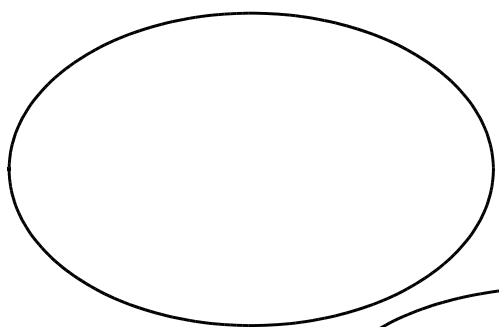
### 参考文献

- ・ 「エンカウンターで学級が変わる Part 1～3 中学校編」 國分康孝監修 図書文化
- ・ 「エンカウンターで学級が変わる ショートエクササイズ集 Part 1～2」 同上

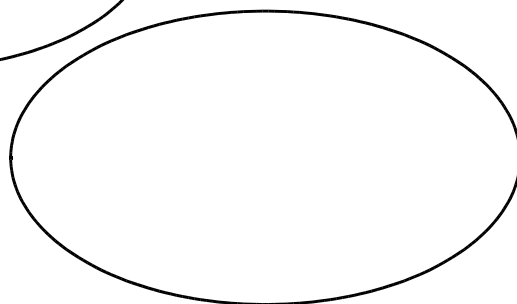
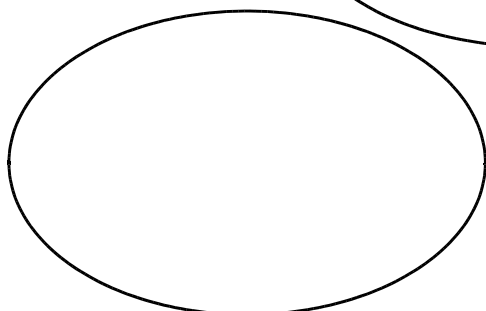
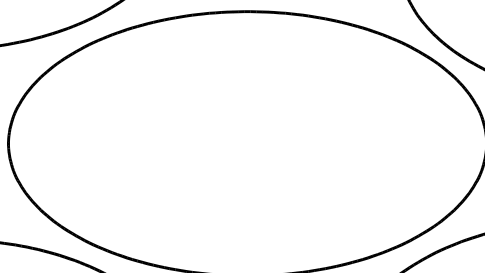
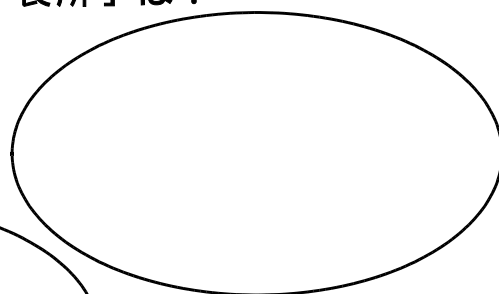
【言葉のプレゼント・ワークシート】

1年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

わたしの「長所」

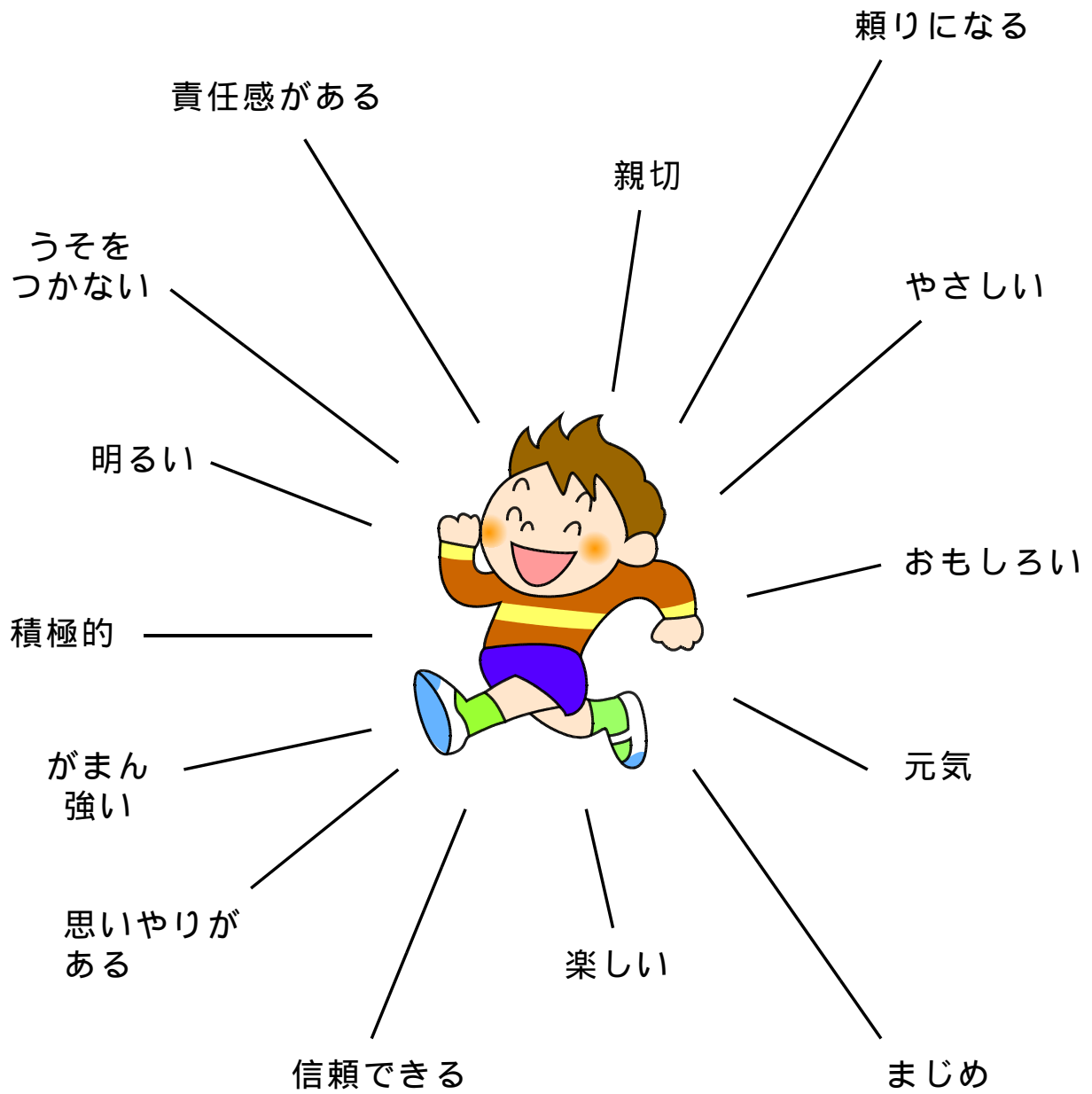


わたしの「長所」は？



どんどん  
書いてみよう。

# 「長所を表す言葉マップ」



# 言葉のプレゼント

君・さん へ

あなたのよさを表すのにぴったりの言葉は

です。



そう感じたのは

からです。

より

言葉のプレゼントをもらったの感想を書いてみよう。



授業「言葉のプレゼント」

# 振り返りカード

1年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

- 1 今日の授業（活動）を振り返っての感想を教えてください。  
（自分の気持ちに一番近いものの数字を で囲んでください。）

「言葉のプレゼント」

その通り      やや      あまりその      その通り  
                 その通り      通りではない      ではない

この活動は楽しかった。

4	3	2	1
---	---	---	---

ワークシートに自分の長所  
を記入することができた。

4	3	2	1
---	---	---	---

友達の長所を見つけ、それを  
相手に伝えることができた。

4	3	2	1
---	---	---	---

友達から伝えてもらったこと  
から自分の長所を知ることが  
できた。

4	3	2	1
---	---	---	---

自分自身を知ることの大切さ  
がわかり、今後も考えたいと思  
った。

4	3	2	1
---	---	---	---

- 2 今日の授業（活動）全体を振り返って、感じたことや思ったことを自由に  
書いてください。